



吉川 慶一
議員

**質問 ふるさと糸魚川応援寄附金
(ふるさと納税)について**

北陸新幹線開業を機に、多くの人に自然豊かな、魅力あふれるまちをアピールするチャンスであるが、この「ふるさと納税」でさらに協力をお願いすべきではないか。応援寄附金はどのように利用され、返礼品については、今後どのような考えがあるのか。

▼市長答弁

寄附金は、寄附された方のご意向に沿って、ふるさとへの地域づくりなど4つの用途で、大切にに使わせていただいている。お礼品としては、特産品で寄附金の1割から2割程度としている。

質問 農業改革(日本型直接支払制度)について

県の農地中間管理機構(農地集積バンク)は、農地貸借目標を増やし、県内農家も経営の大規模化を目指して農地の集積、集約に動き始めている。農地集積バンクの集団化は、当市では計画どおり進められて、国の目標とする数値に達しているか。

また、毎年イノシシ、シカ等による田畑の被害が出ているが、これらに対する対策をどのように計画しているか伺う。

▼市長答弁

各地区において人・農地プランを定め、農地中間管理機構を通して農地の集積、集約化に取り組んでおり、関係機関と連携し、地域農業懇談会等において事業の周知や話し合いを進めているが、現状においては国が目標とする数値には達していない。

平成26年度の鳥獣による農作物被害額は、水稻を中心に約700万円となっており、能生地域が最も多くなっている。対策として、電気柵設置等による農地への侵入防止と、猟友会と連携した捕獲による個体数の削減を進め、今後も農作物被害の防止を図っていきたいと考えている。



五十嵐 健一郎
議員

**質問 子ども一貫教育等の成果と
課題及び今後の取り組み
について伺います。**

(1)全国学力・体力調査の現状分析・課題及び今後の取り組み (2)英語教育改革に向けての先取り対応 (3)高校の魅力化及び職業教育の高等機関創設 (4)自発学習の推進と子ども夢基金の調査研究 (5)2020年東京オリンピックの対応策及び2030年冬季オリンピック新潟開催実現に向けた市の取り組み

▼教育長答弁

(1)全国学力学習状況調査の結果から、課題は、学習に対する意欲と家庭における学習の習慣化と考えており、今後は、さらに教員の指導力を高めることで、授業内容や指導方法の向上を図っていききたいと考えている。体力テストの結果については、大きな課題はない

と考えている。(2)先取りした対応は計画していないが、今後、英語教育改革について、検討を進めていく。(3)県立学校の魅力づくりを県に働きかけるとともに、小・中・高校でのキャリア教育の連携を進めていかなければならないと考えている。(4)児童生徒が自発的に学習する授業づくりができるよう、教職員に指導していく。また、こども夢基金については、現在、調査研究中である。(5)ジュニアの育成を重点に、市体育協会や競技団体と連携して、大会の開催やジュニア団体の育成支援等を推進し、競技力の向上に努めていく。

**質問 子どもが産みやすく育てやすい
環境及び女性が働きやすい環境
にするための取り組みについて**

高齢者介護施設誘致の調査・検討と、地域経済分析及び活性化プログラムの策定について伺う。

▼市長答弁

自治体間の連携により特別養護老人ホームを整備する事例があるので、情報収集を行い研究していく。

また、現状の人口動態や産業構造などのデータを分析し、今後策定する総合戦略で、人口減少対策として検討する。